

# オンライン セミナー開催報告書

日本・ベトナム介護セミナー第2弾

主催：NPO法人AHPネットワークス  
助成：公益財団法人トヨタ財団

トヨタ財団助成プロジェクト  
「家族介護の国から介護保険の国へ…  
日本の高齢者介護施設等で働く外国人  
介護士の安定化と異文化協働の構築」

## ベトナムから 日本の介護へ

開催日：2021年7月17日(土)

時間：14時～16時30分(JST)

\* ZOOM使用、使用言語は日本語(一部通訳)

日越EPAで介護福祉士合格率が90%を超えているベトナム。  
介護の技能実習、特定技能、介護留学にも期待が高まっています。  
今回は日本の介護をよく理解するベトナムの方々から、  
ベトナム国内の介護士教育や日本の高齢者介護についてお話を伺います。

1. 「日本で活躍するベトナム人介護士たち」  
ファン チェン ホアン氏 ■ 駐日ベトナム社会主義共和国大使館労働部長
2. 基調講演「ベトナムにおける介護士育成の現状と今後」  
ファム デュック ムック氏 ■ ベトナム看護協会会長
3. 「ベトナム人介護士を受入れる日本のみなさんへ」  
レーティ ビック ホップ氏 ■ ハードン医療短大、大阪歯科大学大学院
4. 「ベトナム人介護福祉士として日本で働く楽しさ」  
レティ ベンさん ■ 奈良東病院グループ  
グエン ゴック ティンさん ■ 社会福祉法人千寿会  
ディン ディンさん ■ 社会福祉法人千寿会

モデレーター／二文字屋修(NPO法人AHPネットワークス)

コーディネーター／岡田智幸(奈良東病院)・原国芳(社会福祉法人千寿会)  
マイアイン(CICS)

 **AHP**  
Asian Human Power Networks

東京都港区芝2-29-14 一星芝公園ビル4F  
TEL090-9346-7671 ahpnet2010@gmail.com

## **【開会のあいさつ】**

二文字屋 修（NPO 法人 AHP ネットワークス執行役員）

本日のセミナーには多くの方々にご参加いただきありがとうございます。司会進行を務めます NPO 法人 AHP ネットワークスの二文字屋と申します。どうぞよろしくお願い致します。

2014 年、日越 EPA の候補者の来日以来、日本ではベトナム人介護士の人気が高まり、インターネットで「ベトナムの介護」と検索すると、ベトナムの高齢者介護事情や介護施設また看護学校訪問のレポート等を読むことができます。

これらのレポートでよく目にするのは、「ベトナムには介護の概念がない」という言葉です。しかしそれは日本の高齢者介護は介護保険制度によって運営されている介護であり、そこから派生してきた介護に対する固定概念によるものではないでしょうか。

高齢者介護を社会福祉政策から捉えれば、それぞれの国の経済状況も医療福祉政策も社会習慣もことごとく異なっているのですから、それぞれの国で高齢者介護へのアプローチもコンセプトも違っているのが当然ではないでしょうか。

今回のセミナーはベトナムの方々が日本の介護をどのように捉えているのかを知り、そこからまた日本の介護を考えていきたいと思い、開催した次第です。

また今回のセミナーはトヨタ財団の助成を受けた「家族介護の国から、介護保険の国へ…日本の高齢者介護施設等で働く外国人介護士の安定化と異文化協働の構築」というプロジェクトの一環です。いろいろサポートしていただいておりますトヨタ財団の甲野さんと利根さんにこの場をお借りして感謝申し上げます。

## 【セッション1】

### 「日本で活躍するベトナム人介護士たち」

ファン チェン ホアン氏

(在京ベトナム社会主義共和国大使館 労働管理部部長)

ベトナムの EPA 看護師、介護福祉士候補者の来日につき NPO 法人 AHP ネットワークの協力を御礼申し上げます。また本日のセミナー開催にも AHP およびトヨタ財団の支援に感謝いたします。

私はベトナムから EPA 候補者の第一陣が来日した時の開校式でもお話をさせていただいておりますが、候補者の皆さんは日本に来て様々な困難があるかと思いますが、それぞれ努力をして、役割を果たしていることを大変うれしく思います。

現在日本の病院や施設からベトナム人の看護師、介護士の能力を認めていただいております。故郷を離れて日本で働き、日本の国家試験に合格していることは素晴らしいことです。特に介護福祉士の合格率は 90%を超えています。これは私たちの誇りに思っております。

Covid-19 のパンデミックにより、EPA 看護師、介護士の方で帰国せざるをえない方もおりますが、多くは日本で頑張っています。また自分の困難を乗り越えるだけでなく困っている他の方々にも支援をしてくださっています。ベトナム政府の Covid-19 基金に協力もいただいておりますことに、ベトナム大使館労働管理部を代表して皆様にご挨拶申し上げます。

本日の越日両国の介護セミナーは意義あることだと思います。盛会でありますようお願い申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。

## 【セッション2 (基調講演)】

### 「ベトナムにおける介護士育成の今後と現状」

ファム デュック ムック氏 (ベトナム看護協会会長)

ベトナム看護協会会長を務めておりますファム デュック ムックと申します。この度は貴重なセミナーに登壇させていただきありがとうございます。関係者各位に御礼申し上げます。

私も EPA 候補者来日の交渉団メンバーとして参加させていただきました。今日は「ベトナムにおける介護士看護師育成の今後と現状」をテーマにお話しさせていただきます。



NPO法人AHPネットワークス&トヨタ財団  
「ベトナムから 日本の介護へ」  
2021年7月17日

## ベトナムにおける介護士教育の 現状と課題

ベトナム看護協会会長  
ファム デュック ムック

本来、ベトナム語では介護士にあたる人のことを HoLy (ホーリー) 呼んでいますが、ここでは Nhan vien cham soc(介護士) という言葉をあえて使わせていただきます。

今回話すテーマは3つあります。一つは、現在の高齢者の現状。次に今後の課題。そして3つ目がベトナム人介護士育成の現状についてです。

Phạm Đức Muc - Hội Điều dưỡng Việt Nam



まずは「ベトナムの高齢者基礎情報」についてお話しさせていただきます。2019年の国勢調査によりますと、ベトナムの人口は約9600万人。世界では15番目で、東南アジアではインドネシアやフィリピンに次いで3番目に多い数になります。

### 1. ベトナムの高齢者基礎情報(1)

- 国勢調査によると2019年ベトナムの人口は9620万人で、世界で15位(日本は11位)、東南アジアではインドネシアとフィリピンに次いで、3位にランクされている。
- 60歳以上の高齢者は1140万人(総人口の11.8%)、65歳以上の高齢者は740万人(総人口の7.7%)
- 平均寿命は73.6歳(男性71.0歳、女性76.3歳);世界の平均寿命より1.6歳上。ベトナムは、世界で最も高齢化が進んでいる10か国の1つである。
- 高齢者の68%は地方に住んでいる。その内72.3%は子供や孫など家族と暮らしており、22.4%は貧困家庭に属している。

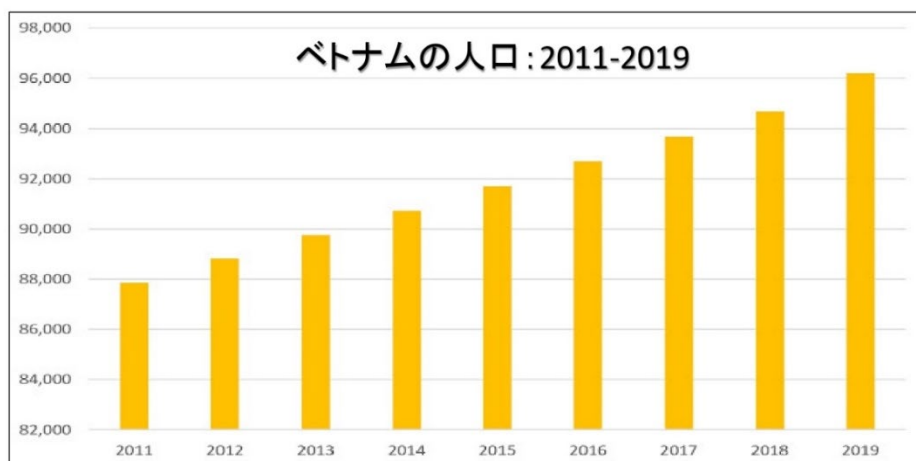
ベトナムの高齢者保護法では高齢者は60歳以上と定義されております。これに基づくと、2019年の時点で高齢者は1100万人以上、総人口の11.8%を占めています。世界の基準に合わせて65歳以上と定義すると、740万人ほど。総人口の7.7%となります。

平均寿命は73.6歳で、男性が71歳、女性が76.3

歳です。世界の平均寿命より、1.6歳ほど高くなっています。ベトナムは、“世界で最も高齢化が加速している10カ国”のうちの一つに数えられています。専門家によると、「高齢化社会」（高齢化率が7%の社会）から、「高齢社会」（高齢化率が14%の社会）に突入するまでおよそ100年かかると言われていますが、ベトナムの場合はわずか20年で「高齢社会」になってしまいました。

ベトナム人はまだお金持ちになっていないのに高齢化社会に突入してしまっている、とも言われます。また都市化も全国的に急速に進んでいます。都市部の人口は現在、34.4%を占めています。農村部の人口は65.6%。そして高齢者の68%が農村部に住んでいます。さまざまな統計がありますが、およそ72.3%の高齢者が家族と住んでいます。注目すべきは、そのうち22.4%が貧困家庭であることです。

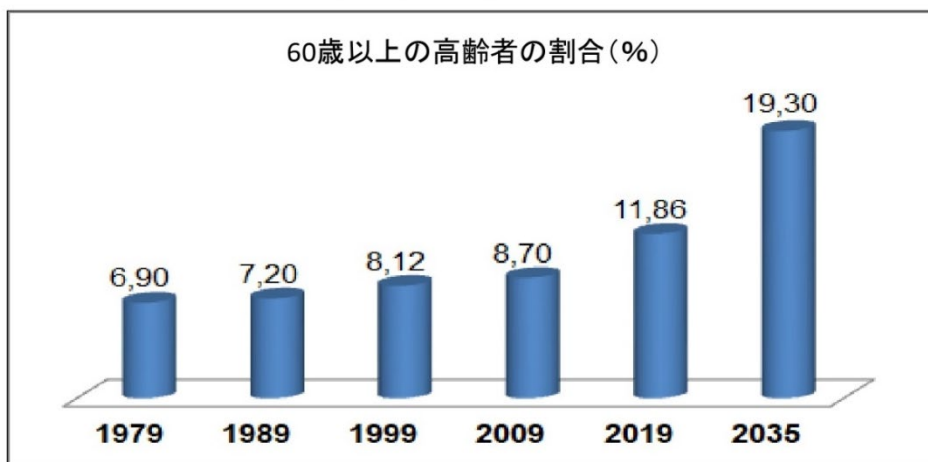
## 1. ベトナムの高齢者基礎情報(2)



ベトナムの人口は、2011年から2019年まで年平均100万人増えています。平均増加率は1.14%です。

ベトナム人口は2009年から2019年で1040万人増加。  
平均増加率は1.14%

## 1. ベトナムの高齢者基礎情報(3)

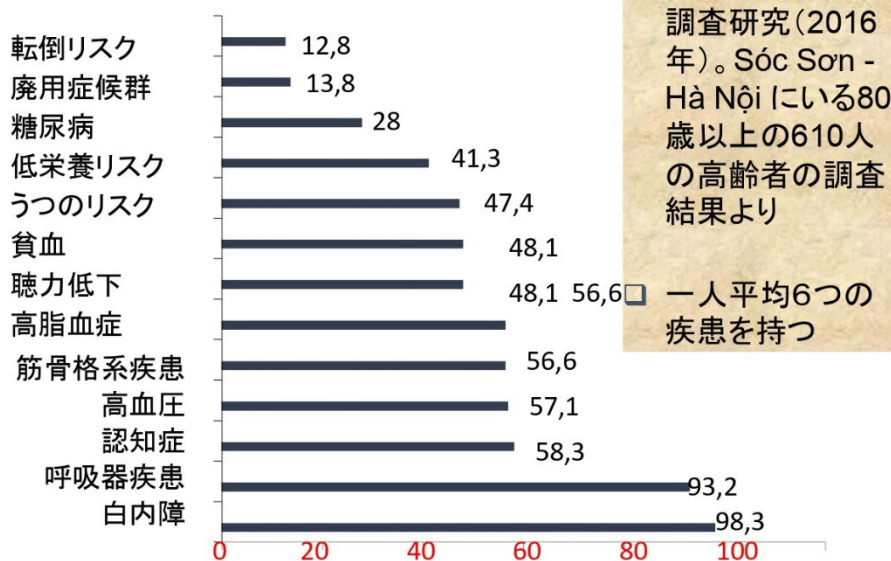


現在、ベトナムにおける高齢者（60歳以上）の割合はおよそ12%ですが、2038年には20%以上になると予測されています。

ベトナムは2011年に高齢化社会へ突入  
2038年に60歳以上の高齢者が20%以上となり高齢社会へ

## 2. ベトナムの高齢者介護の課題(1)

### 1) 高齢者における慢性疾患の増加



8

Phạm Đức Mục - Hội Điều dưỡng Việt Nam



次に、ベトナムの高齢者介護の課題についてです。

慢性疾患の増加についてですが、2016年にソクソン地方において610人の高齢者からアンケートを取ったところ、多くの方が高血圧や糖尿病、COPD（慢性閉塞性肺疾患。気管支炎や肺気腫などの呼吸器系の疾患）、栄養失調、うつ、白内障などなんらかの疾患にかかっていました。高齢者一人平均、6から7の疾病を抱えていました。

## 2. ベトナム高齢者介護の課題(2)

2) 多疾患を持つため、高齢者の自立とADL低下：障害リスクが増加し、依存度も増加、支援策が必要

3) 医療費の増加：複数の病気を抱える高齢者は、国内で消費する薬の50%を使用しており、医療費は若者の7～10倍。

4) 限られた介護サービス施設：老年病院、老年病棟、介護施設の数が少ない。自己負担と文化的要因のためにアクセスできる高齢者も少ない。

5) 介護人材不足：看護師は1人/万人で、他の国に比べて非常に少ない(12看護師/万人)。介護職は未成熟で訓練を受けていない人が多い。

高齢者の多重疾病は、高齢者の自立とADL（日常生活動作）を低下させるため、介護や介助が必要となります。

また医療費も増加しています。高齢者は若者の7～10倍の医療費がかかっています。特に高齢者の投薬量は、国内で消費する50%を占めています。

しかしベトナムの高齢者施設は不十分です。数が非常に少なく、施設入居の費用負担額も大きいです。文化、習慣的な問

9

Phạm Đức Mục - Hội Điều dưỡng Việt Nam



題から利用者数が少ない、という面もあります。

ベトナムは日本と違い介護士はおらず、看護師しかいません。またその数も少なく、看護師は人口1万人に1人しかいません。そのため、看護師の負担も非常に大きくなっています。東南アジアエリアでは、1万人に12人ほど看護師がいると言われるので、この問題はベトナムにおける非常に大きな課題となっています。

タイと比較するとベトナムの看護師数は半分ほど、日本と比較すると7分の1か8分の1ほどです。職業の認知度も低いのが現状です。

高齢者介護士育成の現状をお話しします。

介護職は英語では Caregiver ですが、2009 年の EPA 構想を導入した際には、ベトナムにはまったくその概念がありませんでした。一番近い職業は何かという話題になり、その時に「ホーリー」に近いとされたため、「介護士＝ホーリー」となっています。

上の表は、一般教育や教育カリキュラムなど9つの内容で、ホーリーと今後導入していきたい介護職 (Caregiver、Nhan vien cham soc) を比較し

たものです。一般教育で見ると、ホーリーには規定がありません。介護士は 12 年課程、高校卒業が求められています。職業訓練、教育カリキュラムはホーリーにはなく、介護職には 2 年間あります。職場は、ホーリーの場合は病院ですが、介護職は病院も介護施設もあります。主な仕事は、ホーリーは病院の掃除ですが、介護士は高齢者の介護・介助業務になります。

仕事の性質も、ホーリーは一般労働と考えられていますが、介護士は技術や知恵、心が必要な仕事となります。またホーリーの上司は看護師になりますが、介護士の場合は介護管理者、日本におけるケアマネージャーがあたります。またホーリーの需要は少なくなっておりリストラもありますが、介護職は今後、病院だけでなく介護施設などで需要が増えています。

### 3. 介護士教育の現状 (1)

1) **介護職 (Caregiver):** EPAプログラム(2009年)を通じて初めてベトナムに導入された。ベトナムでは「**HỘ LÝ (護理)**」の職業と同等にランク付けされ、EPAに参加した者は介護職 (Caregiver) の特性について混乱を招いた。

比較内容	Hộ lý 護理	介護/Caregiver
1. 一般教育	規定がない	高校卒
2. 教育カリキュラム	ない	あり
3. 職業ライセンス	規定がない	あり
4. 職場	病院	介護施設/病院
5. 主な業務	病院の掃除	ケアサポート
6. 職業の性質	一般労働	手-心-知
8. 管理する者	看護師	介護管理者
9. 採用ニーズ	減少& 採用中止	増加

10

### 3. 介護士教育の現状 (2)

2) **介護士の職業(Caregiver):** 決定34/2020 / QĐ-TTgでは、ベトナムの職業リストに追加され、中級(レベル4)と初等(レベル5)の2つの教育レベルがあった。

#### 業務

- i. 看護師及び他の医療従事者(医療専門家)によって確立された療法と治療等のケアサポートを提供する;
- ii. 個人の衛生行為、食事、更衣、動作、運動、コミュニケーション、投薬を支援(サポート)する;
- iii. 移動、ストレッチャーや車椅子輸送;
- iv. 衛生状態を維持し、シーツ交換を行う;
- v. マッサージ、非薬物療法による疼痛緩和;
- vi. 担当の医療専門家に状況を報告する

□ **ケアサポート(介護)**を専門職として認定することは、これまでの状況からみて非常に積極的な事である

ここまで、ベトナムには介護職 (Caregiver、Nhan vien cham soc) がないと申しましたが、2020 年に首相の決定でベトナムの職業リストに追加されました。これには、中級(レベル4)と初等(レベル5)の2つの教育レベルになります。

業務内容は、看護師や医療従事者のサポートや、被介護者への食事のケアや衣服の脱着、運動のサポートなどです。衛生状態の維持やマッサージ、担当の医療者への状況報告なども含まれます。

これらの具体的な業務を明記

して認めることは、ベトナムにとっては日本の介護職の状況に一步近づくことになります。大きな前進です。

### 3.介護士教育の現状 (3)

- 3) **統一した教育カリキュラムと教材がない。** 専門学校や送り出し機関は自発的に訓練プログラムや教材、資料を作成している。それぞれのプログラムは異なる名称で呼ばれている: HỘ LÝ教育、初級看護教育、介護教育等。特に教育の方向性はHỘ LÝ(護理)に偏っている! **日本のパートナーからの協カ/トレーニングサポートを期待します。**
- 4) **“NHÂN VIÊN HỖ TRỢ CHĂM SÓC—介護士(ケアサポートスタッフ)”のトレーニング/教育コースを教えるプロ(専門家)の教員が不足。** 現在、殆どの学校は、高齢者介護の訓練を受けていない看護教員を起用しているため、教育の質に影響を及ぼし、**“NHÂN VIÊN HỖ TRỢ CHĂM SÓC 介護士/ケアサポートスタッフ”は看護師の専門的な指導の下で働く**と誤解しやすい。

Phạm Đức Mục - Hội Điều dưỡng Việt Nam



しかし現在、ベトナムにおいては国家レベルの統一した教育カリキュラムと教材がありません。各学校や民間企業がそれぞれ作成したものしかなく、「ホーリー教育」「初等看護」「介護教育」など、呼称もバラバラです。そして、内容がホーリー教育に偏っていることが多いです。

また、介護職を指導する専門家も不足しており、ほとんどが看護師経験者から抜擢してシフトチェンジしている状

況です。メリットもありますが、そのために、介護士は看護師の下で働くものであるという誤解も生まれています。

現状として、ベトナムの介護士(ホーリー)は高齢者介護の知識も技術も不足しており、離職率も高いです。看護師を雇って高齢者介護を任せるところがほとんどで、職業観の違いから離職する理由にもなっています。看護師として教育された業務と介護業務は異なるためです。結婚を理由に転職する人もいます。

早急に介護士(Nhan vien cham soc)としての職業認定書を発行することが、ベトナムにとって今後の重要な政策と言えるでしょう。

### 3.介護士教育の現状 (4)

- 5) **高齢者のケアサポートスタッフ(介護士)は高齢者介護の知識や技術が不足し、離職率が高い:** 現在殆どの介護施設(老人ホーム)では高齢者のお世話をするために看護師を雇っている。多くの介護施設では看護師がさまざまな理由で仕事を辞めるという状況に直面しています。業務内容が教育された分野と違うことや結婚後に転職する等。したがって、CARE SUPPORT STAFF(介護士)の職業を認定し、職業ライセンスが取得できるような教育カリキュラムを開発することは、ベトナムが数年後に高齢者ケアの必要に質する人材を確保するため、重要な政策です。





## 4.高齢者介護におけるベトナム看護協会の役割

なぜ、ベトナム看護協会は高齢者介護プログラムの推進に積極的に参加するのか？

- 看護協会の3Fsミッションからの始まり：“FOR THE NURSES, FOR THE PROFESSION, FOR THE COMMUNITY’ HEALTH”
- 看護師対国民の人数比率は1:1万人で非常に低い。(他国は12:1万人). CARE SUPPORT STAFF(介護士)の職業の誕生は、看護師と仕事の分担ができる。
- ベトナムは高齢化社会へ突入しているが高齢者介護をする人材はまだ限られている。よって “**介護士は看護師のよ**うに大切な人材である”

Phạm Đức Mục - Hội Điều dưỡng Việt Nam 

最後に、ベトナム看護協会が高齢者介護にどのように関わっていくかについてお話しします。

看護協会には、看護師のため、職業のため、地域社会の健康のため、という3つの使命があります。また介護職が誕生することで看護師の役割を軽減できると考えています。ベトナムは高齢化社会に突入しているため、介護士も看護師と同じく重要な役割があると言えます。

## 4.高齢者介護におけるベトナム看護協会の役割

### 高齢者介護に関する多くの活動を展開する

- a. 日越EPA交渉団に参加;
- b. 政府に “Nhân viên chăm sóc 介護士”の職業を認定するように提案する
- c. 看護や高齢者介護に関する国際会議、セミナーを開催し、日本の看護、介護専門家を招聘する。
- a. 協会の継続教育センター(生涯教育センター)は高齢者介護の教育カリキュラム、教材を開発中。労働傷病兵社会省と保健省に提出し、承認後2022年に全国に普及することが期待されている。

Phạm Đức Mục - Hội Điều dưỡng Việt Nam 

看護協会の役割として、さまざまな普及活動も行なっています。諮問機関としてベトナム・日本EPA交渉団への参加、国に対し介護士の仕事を認定してもらうための提案・提言、また日本の介護専門家から知識を得るために国際会議やセミナーを開催してきました。高齢者介護の教育カリキュラムや教材も、日本のパートナーと一緒に作成に向けて模索しています。労働 傷病兵 社会省と保健省に提出し、2022年には全国に普及されるよう

期待しています。日本のみなさまにもご協力いただければ幸いです。

# 介護士教育に関する職業教育総局との 協力協定



これは労働 傷病兵 社会省職業教育総局との協力協定の写真です。右側の写真は日本側のパートナーとの写真です。看護師、介護士に関する国際的なシンポジウムも開催してきました。

ベトナムの看護師・介護士に関する広報は日本でもさせていただいています。EPA は今後のベトナムにおける看護師、介護士として貴重な人材となります。

今回はこのような場でお話しさせていただきありがとうございます。日本側の協力を期待しておりますので、ぜひよろしく願いいたします。

## 【質疑】

Q. ベトナムに民間の高齢介護施設はどれだけあるのでしょうか？

A. 具体的な民間の高齢者施設数は把握していませんが、今後需要が増えてくるだろうと思われま。費用はさまざまなレベルがありますが、平均して月に 700 万ドンから 900 万ドン（日本円で 35,000 円から 45,000 円）くらい費用がかかります。高級なところでは、月に 1500 万ドンかかります。

一般の方にこの費用は払えません。40 年間勤務して年金は 600 万ドンから 700 万ドンくらいなので、高齢者施設に入れる状況にはありません。

Q. 介護という職業が認定されたのでしょうか？ また職業が認定されてどのような教育を受ければいいのか、というところまで決まったのでしょうか？

A. まだベトナムの職業項目の中に名前が挙げられているだけで、具体的にはこれからです。具体的な役割責任や処遇、位置付けはこれからになります。これから整備に入ります。

Q. ムックさんを中心に内容をつめていくということですね？

A. その通りです。医療省と協力して展開していきます。

## 【セッション3】

### 「ベトナム人介護士を受け入れる日本のみなさんへ」

レ ティ ビック ホップ氏（ハードン医療短大、大阪歯科大学大学院）

トヨタ財団助成プロジェクト「家族介護の国から介護保険の国へ…  
日本の高齢者介護施設等で働く外国人介護士のアンテかと異文化協働の構築  
2021年7月17日（土）14:00～16:30（JST）  
日本・ベトナム介護セミナー第2弾：ベトナムから日本の介護へ

## ベトナム人介護士を受け入れる日本のみなさんへ

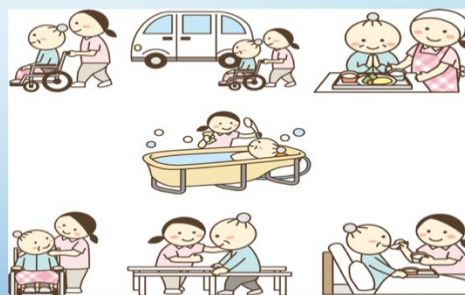
LE THI BICH HOP

レ ティ ビック ホップ

（HA-DONG医療短期大学・大阪歯科大学大学院在学）

本日は

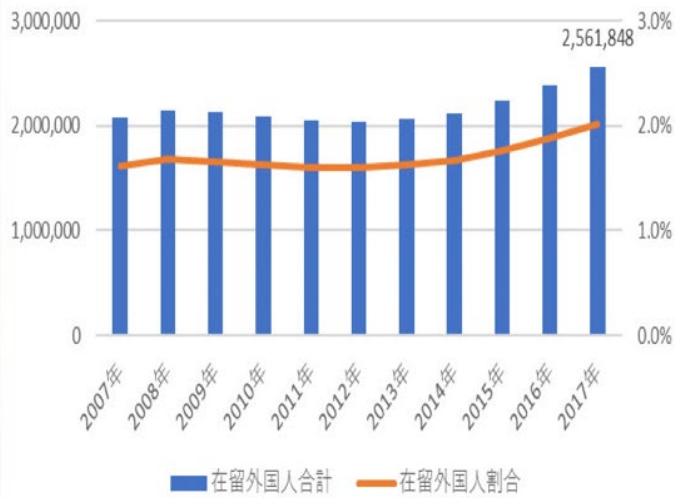
- 外国人の日本での役割
- 外国人介護職を受け入れるために  
日本に期待すること



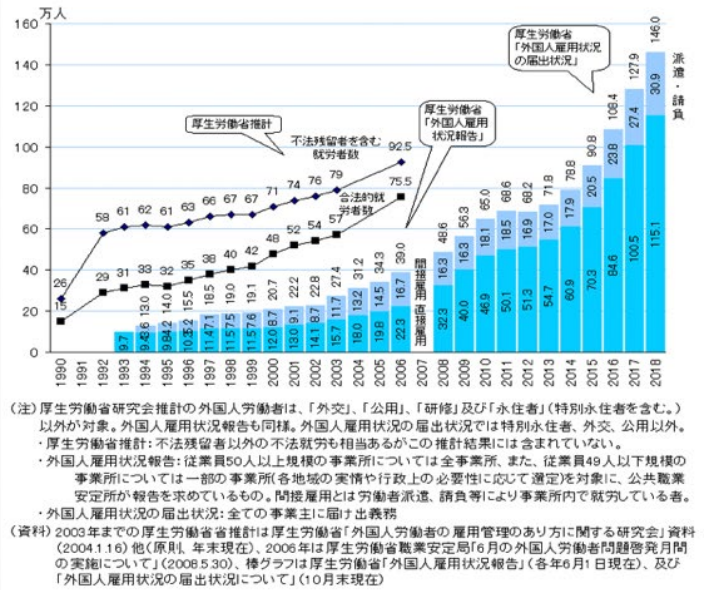
本日は、外国人医療福祉専門職の人的資源管理の視点から見た外国人の日本での役割と外国人介護職を受け入れるために日本に期待することについて話させていただきます。

# 在留外国人の現状

## 在留外国人数と日本総人口比

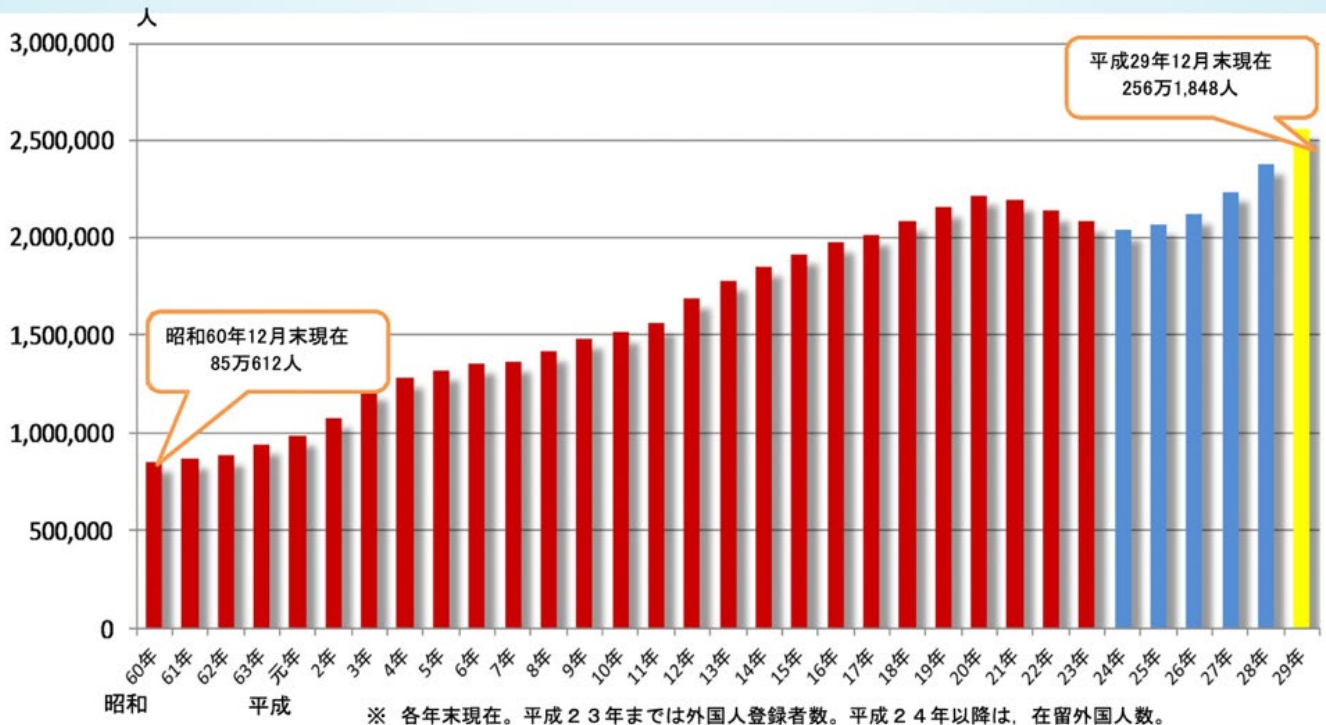


## 外国人労働者数の推移



# 在留外国人数の推移

《出典》法務省入国管理局、未来投資会議 構造改革徹底推進会合  
 「企業関連制度・産業構造改革・イノベーション」会合(雇用・人材)



日本では年々外国人観光客だけでなく在留外国人も増えています。平成29年末の法務省の資料によりますと日本での在留外国人の数は256万人、人口の3%弱を占めています。

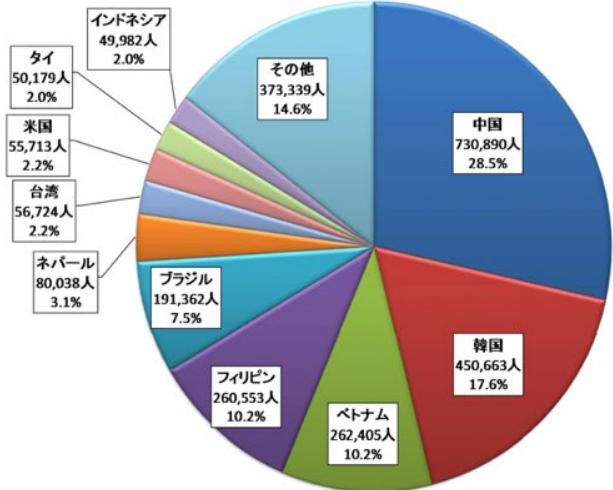
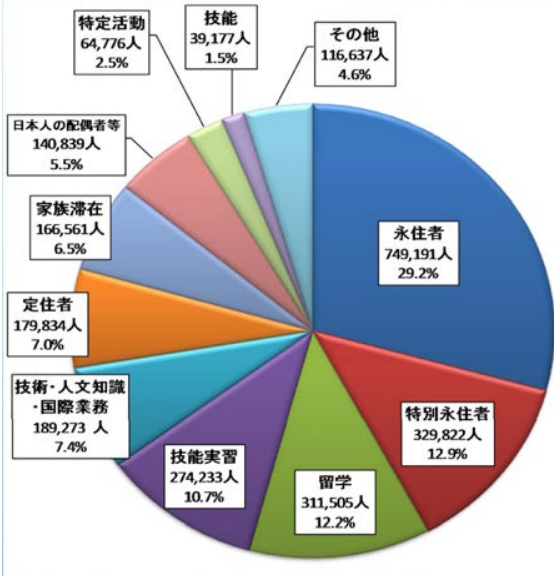
# 在留外国人の在留資格・国籍別内訳(平成29年末)

在留外国人数（総数） 256万1,848人

〔出典〕法務省入国管理局、未来投資会議 構造改革徹底推進会合  
「企業関連制度・産業構造改革・イノベーション」会合（雇用・人材）

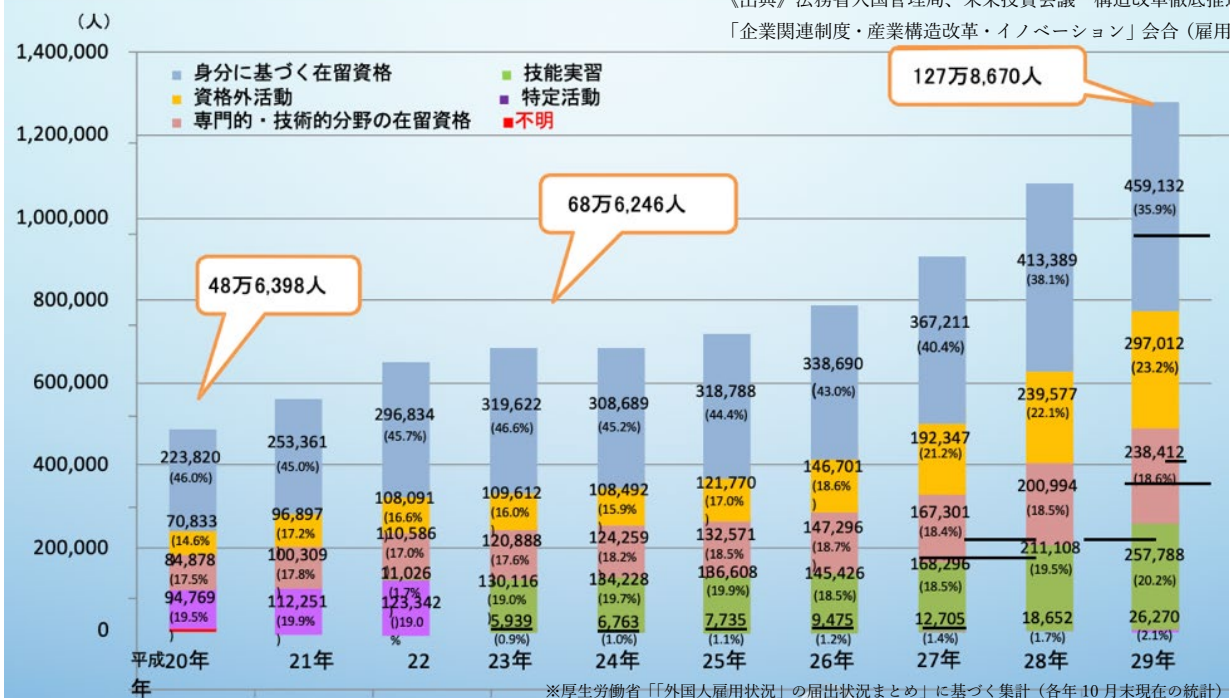
在留資格別

国籍・地域別



## 日本における外国人労働者数の推移

〔出典〕法務省入国管理局、未来投資会議 構造改革徹底推進会合  
「企業関連制度・産業構造改革・イノベーション」会合（雇用・人材）



最近ベトナム人がかなり増えています。ここで注目していただきたいのが、外国人労働者が約128万人いるということです。しかしそのうち専門的技術的分野は18.6%しかいません。これに対して私の国ベトナムでは、外国人労働者は91,000人いますがそのうち75%は専門家や投資家、管理者です。

つまり、ベトナムで働く外国人はほとんど高度人材ですが、日本では一般的な労働者が80%以上を占めています。特定活動や技能実習生、資格外活動の留学生によるアルバイトなどです。この数字を見てどう思いますか。高卒者や社会経験が少ない外国人が多いということです。日本に居る外国人は社会的地位が低く弱い立場にある人が多いとみられます。こうした若い人たちに対してしっかりした事前教育や受け入れ態勢が整っていなければ、対人トラブルや犯罪、差別などの問題が起こりうると思います。

## 外国人労働者に対するイメージ

- 低賃金労働者
- 出稼ぎの人が多からお金に対する執着感が強い
- 能力が低い
- 日本人が敬遠にする仕事に就いてくれる
- 無愛想; 社会的遠慮・配慮・マナーが欠けている
- 職場でも、生活場でもよく問題を起こす
- 迷惑行動や犯罪を犯す
- 不法滞在、不法労働による地域の安全性が脅かされる

それでは外国人労働者に対してどのようにどのようなイメージがあるのでしょうか。

まず安い労働者だと思いませんか。出稼ぎ労働者が多からお金に対する執着心が強い。お金さえあればどんな仕事もやりそう。高校卒や社会経験が浅いから能力が低く、いくら説明してもわからない。日本人がやりたくない仕事をやってくれる。しかしありがたいとは思わず、軽蔑しがち。不愛想。挨拶しても返事しない。話しかけても黙り込む。職場でも生活の場でもよく問題を起こす。指示を聞かない。ささやかなことでもケンカをし

たり、迷惑な行為や犯罪を起こして地域の安全性が保てない、というようなイメージを持ってないでしょうか。最近メディアにも多く取り上げられているのが外国人による犯罪や事件で、よく耳に入ってきます。

私は老人保健施設で看護師としてアルバイトをしていました。そのときベトナム人による「豚の解体事件」が報道されました。ちょうど私は職場にいましたが、そのニュースを見てすごく複雑な気持ちでした。

同僚には、あえて目を合わせない人もいれば、肩を静かに叩いて「あなたは違う。真面目に頑張っているから大丈夫よ」というふうに気を遣ってくれた人もいます。またユーチューブで最近、移民反対デモを見ました。かなりきつい言葉が使われてすごく悲しかったです。でもここで少し考えていただきたいです。外国人だから問題や犯罪を起こすのでしょうか。また、256万人の外国人の中で犯罪者は何パーセント占めていますか。外国人だから問題があると思ってもいいのでしょうか。ここで、「日本人だから」「外国人だから」という考え方をいったん置いていただきたいです。ひとりの人間として見ていただきたい。

その人が抱えている悩みや苦勞を理解し、その人の頑張りを認め、その人の能力を最大限に引き出せるような関わり方やサポートをしていただきたいのです。そうするとお互いに学習ができ成長していくことができると思います。

では外国人は日本でどのような役割があるのでしょうか。

日本は超高齢社会に突入し、生産労働力減少による労働力不足に直面しているとよく言われています。外国人は人手不足対策として、労働者補充に貢献することは明らかですが、この役割だけを果すものではありません。

## 外国人の日本での役割

- 労働者不足解消
- 消費者
- 納税者
- 地域活性化
- 社会的役割
- グローバルな人材育成、グローバルな情報へのアクセス、グローバルな舞台でのプレゼンス(日本企業が海外進出や外資企業受け入れの貢献)
- 文化・学術交流、国際関係構築への貢献



人手不足に関しては、人工知能 AI を活用することである程度やわらげることができたとしても、AI は外食をしたり電車に乗ったり遊びに行くことはしません。AI はこうした日常消費活動に貢献することはできません。しかし、外国人は日常生活を営み、消費活動に参画しています。また外国人労働者が家族とともに長く日本で生活することになれば、日本人と同じように住宅や教育関連の消費も増えていくでしょう。さらに母国の家族や友人

が観光で訪日することによって、インバウンド消費にもかなり貢献します。彼らの多様なニーズに対応した商品やサービスが生まれてきたり、それが雇用の創出につながったりすることもあると思います。

もう1つの貢献としては、納税者の役割があります。働けば所得税、年金、保険料を納めるし、消費税も日本人と同じように負担します。また、日本の地方は人口減少と高齢化の問題で地方経済が収縮し、財源不足になっています。外国人労働者がそうした地域に入ることによって、地域の活性化や地域の振興にも貢献することができると考えられます。

社会的な役割に関しては、一生懸命働いている外国人は社会に対して刺激になるし、先輩の外国人は後輩の支援や人材育成の役割も果たします。企業に外国人労働者がいるとグローバルな人材育成や情報へのアクセスなどで、日本企業の海外進出や、海外からの投資にも貢献できると思います。もちろん文化や学術、国際交流関係構築への貢献もできると思います。これらの役割を果たすためには、外国人労働者自身の努力だけでなく周りの日本人の協力も必要です。

## 日本の介護人材不足の現状

【出典】：厚生労働省、第7期介護保険事業計画

### 介護人材の需要



注1) 需要見込み(約216万人・245万人)については、市町村により第7期介護保険事業計画に位置付けられたサービス見込み量(総合事業を含む)等に基づく都道府県による推計値を集計したもの。  
 注2) 2016年度の約190万人は、「介護サービス施設・事業所調査」の介護職員数(回収率等による補正後)に、総合事業のうち従前の介護予防訪問介護等に相当するサービスに従事する介護職員数(推計値:約6.6万人)を加えたもの。

これからは外国人介護職の人が多く入ってくると思います。では、私たち外国人医療・介護職者は日本に何を期待しているのでしょうか。

まず私たちのことを知ってほしいです。人的資源管理の視点から見ても、相手のことをよく知った上で相手が持っている潜在能力を引き出すことが大事です。どこから来たのか、どんな

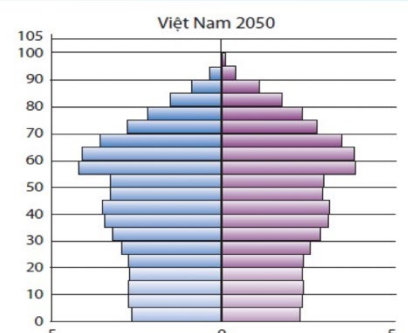
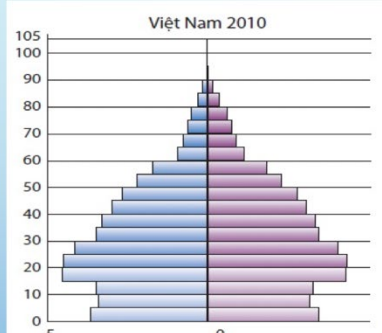
社会背景があって教育環境はどのようになっているのか、ある程度把握していただきたいです。それによって日本社会に適応させるためにはどんなことを補足していけばいいのかがわかってくるはずです。

## 外国人介護職ー日本に期待すること ①

### 労働者のバックグラウンドの理解

ベトナム人口構造 【出典】：ベトナム統計局

たとえばベトナムの人口ピラミッドの形は、2010年代には若い者が多く「ピラミッド型」でしたが、2050年には高齢者が多くなり「つぼ型」へ変化すると予測されています。2010年代では(ボリュームゾーン)の平均年齢が28才の若い国でしたが、とても速いスピードで高齢化が進んでいくことがわかります。



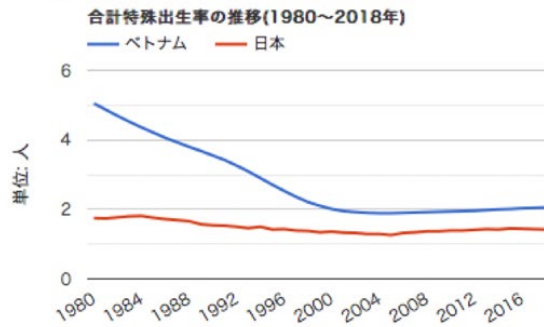
## 外国人介護職ー日本に期待すること ②

労働者のバックグラウンドの理解: 高齢化社会への対応

### ベトナムの高齢化のスピードとその要因

	ベトナム	日本
高齢化社会 (7%)	2015年	1970年
	↓ 18年	↓ 24年
高齢社会 (14%)	2033年	1994年
	↓ 17年	↓ 13年
超高齢社会 (21%)	2050年	2007年

	ベトナム	日本	備考
平均寿命 (2019年)	女性 80.7歳	87.45歳	
	男性 71.3歳	81.41歳	
合計特殊出生率 (2018年)	2.05人	1.42人	2人子政策



2009年に高齢者法を制定  
労働・傷病兵・社会省(MOLISA)の社会  
保護施設計画(2016-2025)  
社会保護施設: 全国461施設  
高齢者施設: 64施設

《出典》: 合計特殊出生率の推移、世界経済のネタ帳  
[https://ecodb.net/exec/trans\\_country.php?type=WB&d=TFRTIN&c1=VN&c2=JP&s=&e=](https://ecodb.net/exec/trans_country.php?type=WB&d=TFRTIN&c1=VN&c2=JP&s=&e=)

設しかありません。その中で高齢者介護施設は民間を入れても 64 施設しかありません。そのため、ベトナムではまだ馴染みのない介護職者を日本がベトナムから雇うとするなら、日本語能力だけではなく、職業認識や技能訓練にも力を入れる必要があると思います。

ベトナムは 2015 年に高齢化社会となっており、2030 年には高齢社会に入ります。

ベトナムではこれまでは年をとると子供や家族にみてもらうことが普通でした。現在の人口構成であればなんとか対応できると思いますが、高齢化とともに支える人が少なくなると社会保障は保てなくなります。

現在、ベトナムでは親がいない子供や障害者、高齢者の社会保障施設は 461 施

## 外国人介護職ー日本に期待すること ③

労働者のバックグラウンドの理解: 教育背景(看護教育)



**老年看護は内科看護の中に含まれており、約10時間で1単位にも満たない!**

**正式な介護教育カリキュラムがない!**

また、ベトナムにおいて介護は職業としてまだ認知されていないので、正式な教育カリキュラムがありません。

これに関しては先ほどのムックさんのお話の中で、「職業のネーミングがなされた」と発表がありましたが、カリキュラムや職業の細かな役割など、これから整理する問題がたくさんあります。

たとえば看護短大での「老年看護」は、成人内科カリキュラムの中に含まれていますが、授業時間は約 10 時間しかなく、1 単位も満たさない状況です。もちろん最近では介護士不足のため日本からのリクルートが多くなり、介護施設での就職ができるようになりました。そのため、介護教育カリキュラム開発と技能訓練などをはじめてきましたが、まだまだ不十分です。

たとえば看護短大での「老年看護」は、成人内科カリキュラムの中に含まれていますが、授業時間は約 10 時間しかなく、1 単位も満たさない状況です。もちろん最近では介護士不足のため日本からのリクルートが多くなり、介護施設での就職ができるようになりました。そのため、介護教育カリキュラム開発と技能訓練などをはじめてきましたが、まだまだ不十分です。



# 外国人介護職—日本に期待すること ④

**適切な受け入れの準備**: 事前教育(現地での教育)

• 日本語教育

• 職業認識

• 技能訓練

• 日本の文化、マナー

• 日本で準備するもの:

サポート体制: 日本人向けの説明会、生活指導者研修、  
業務指導者研修、入国後教育プログラム、キャリアデザイン



このような状況で介護技能実習生や特定技能候補生の教育を、全部、現地の送り出し機関に任せてもいいのでしょうか。知識不足でミスマッチなどの問題が起こらないでしょうか。いい人材を育てるためには、ベトナム側も日本側もお互いの知識やノウハウを出しあう必要があると思います。

適切な受け入れの準備としては、まず事前教育に力を入れるべきです。

日本語教育はもちろん、職業認識、技能訓練などを根気よく教えましょう。そして早く日本の生活に慣れるために、日本の文化を紹介したり、マナー教育をすることも必要です。日本人には常識だと思えることも、外国人にとってそうではないかもしれません。

最近のベトナムの学生はなかなか日本語能力が伸びないとよく言われていますが、彼らの能力が低いのか、教育方法に問題があるのかを検証したことがありますか。

私の場合は約1年3カ月の日本語教育で2級(当時)が取れました。私が優秀だったのではなく、そのとき教えてくれた日本人の先生が素晴らしかったのだと思います。なぜなら、そのとき私たちは全員2級に合格しましたし、その中には1級が取れる人もいました。たった15ヶ月の日本語学習で、初級から2級および1級が取れました。そして私の先輩も後輩も、同じような期間で同じような能力を身につけることができました。

看護専門学校的一般入試では、日本人受験生と同じ試験を受けて入学して日本人と一緒に勉強し、看護師国家試験もほとんどが一回で合格しました。日本で勉強や就職するためには、現地教育でも日本人の専門教育家や日本語教育専門家の介入や指導が必要だと思いました。

また、現地の準備だけではなく日本での受け入れの準備も必要です。現場にいる日本人職員たちにも、これから受け入れる外国人のことをしっかり説明していただきたいです。偏見や差別をなくし、協力してもらうことが大事です。生活支援者や業務指導者の研修などを行ない、しっかりした教育プログラムやキャリアデザインを作成しておく必要があります。もちろん実際は計画どおりに行かない事も多いかと思いますが、一定の期間で再評価し修正していくことも大事です。

## 外国人介護職—日本に期待すること ⑤

### 適切な受け入れの準備:入国後

#### • 配属前の教育:

- ❖ 日本語
- ❖ コミュニケーション能力向上
- ❖ マナー、生活指導

#### • 配属後:

- ❖ 組織の理念、あり方
- ❖ 業務指導(プリセプター等)
- ❖ 日常生活サポート(生活支援担当者)
- ❖ 個々の能力に応じた教育プログラム、  
キャリアアッププログラムを実施
- ❖ 地域との交流、ボランティア活動参加



このようにして外国人介護職が日本に入国してくれば、整った環境で受け入れることができ、外国人職員に安心して働いてもらうことができます。

また資格あり、なしの差にもきちんと配慮していただき、それに見合った役割を与え、報酬などの合理的なコミットメントを検討する必要があります。

本日は介護留学生の話はできませんが、彼らに与える役割は技能実習生と異なるので違う形のサポートやキャリアデザインが必要だと思います。

病院や介護施設において、日本人だけではなく外国人職員の満足度も高めて職場に定着してもらうためには、組織内のコミットメントだけではなく文化的・宗教的・社会的なコミットメントにも配慮していただきたいです。

厚生労働省の外国人介護人材の受け入れの環境整備によると、コミュニケーション支援、資格取得支援、生活支援、教員の質向上支援などの環境整備に掛かる費用を一部国から助成がされているようです。ぜひこれを活用してください。よろしくお願いします。

## 外国人介護職—日本に期待すること ⑥



最後になりますが、私たち外国人医療・介護福祉従事者は、質の高い介護サービスを提供するために、社会のために、そして自分のために、日本人のみなさんとお互いに理解し合い、認め合いながらともに働き、ともに成長していくことを願っております。ご清聴ありがとうございました。

## 【セッション4】

### 「ベトナム人介護福祉士として日本で働く楽しさ」

岡田智幸氏（奈良東病院）

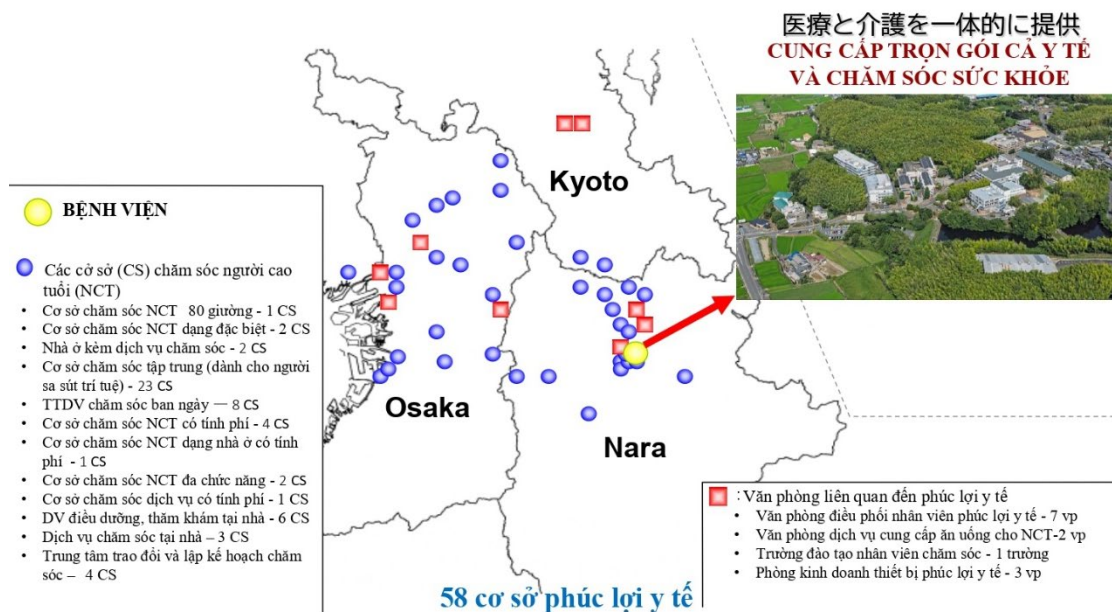
レ ティ ベンさん（奈良東病院グループ、介護福祉士）

原国芳氏（社会福祉法人千寿会）

グエン ゴック ティンさん（社会福祉法人千寿会、介護福祉士）

ディン ディンさん（社会福祉法人千寿会、介護福祉士）

## 奈良東病院グループ事業所 HỆ THỐNG CÁC CƠ SỞ CỦA TẬP ĐOÀN



奈良東病院の岡田と申します。どうぞよろしくお願いたします。

私からはグループの紹介と海外事業の紹介をしてベンさんにつなごうと思います。

私たちは奈良、京都、大阪において病院を中心に特養、老健、有料老人ホーム、通所サービス、訪問介護事業を展開しております。特に奈良の北部で日本で地域包括ケアと呼ばれるものを提供しております（スライド右上写真）。これは、病院や介護施設、通所サービス、訪問介護サービスを一つの場所に一体的におく施設です。今はコロナの影響もあって少なくなりましたが、多くの海外の方が見学に来られます。

### 奈良東病院グループにおける海外人材受入れの取り組み

#### TIẾN HÀNH TIẾP NHẬN NGUỒN NHÂN LỰC NƯỚC NGOÀI CỦA TẬP ĐOÀN BỆNH VIỆN NARA HIGASHI

日本の介護事業は、今後益々スタッフの確保が困難になる事が予測されます。こうした背景の下、奈良東病院グループでは、約20年前から海外人材の確保を目的に実証検証を続けており、外国人受入れにおいて体制・技術・ノウハウ・ネットワークを蓄積してきました。

Theo dự đoán việc đảm bảo nguồn nhân lực trong ngành điều dưỡng, chăm sóc ở Nhật Bản sẽ khó khăn hơn trong tương lai. Trong bối cảnh đó, từ 20 năm trước Tập đoàn bệnh viện Nara Higashi đã tiến hành tìm hiểu và kiểm chứng nhằm mục đích đảm bảo nguồn nhân lực nước ngoài. Chúng tôi đã xây dựng được một hệ thống mạng lưới tiếp nhận nguồn nhân lực nước ngoài.

海外の取り組みですが、約20年前から介護の人材不足を予測しており検証を続けてきました。

# 海外人材受け入れ(2021年7月)

NỖ LỰC TIẾP NHẬN NGUỒN NHÂN LỰC NƯỚC NGOÀI



## 在籍 50人 (のべ73人)

Hiện tại có 50 người (tổng cộng 73 người)

- |         |     |             |          |
|---------|-----|-------------|----------|
| ・ベトナム   | 36人 | Việt Nam    | 36 người |
| ・フィリピン  | 9人  | Philippines | 9 người  |
| ・中国     | 2人  | Trung Quốc  | 2 người  |
| ・台湾     | 1人  | Đài Loan    | 1 người  |
| ・インドネシア | 2人  | Indonesia   | 2 người  |



現在、私たちのグループには海外の方が50人在籍しております。特にベトナムの方が最近多くなってきております。EPAの方、介護留学の方、介護技能実習生の方、特定技能の方も数名おられます。

奈良東病院グループにおけるベトナム事業拠点  
(2020年12月1日現在)

## ĐỐI TÁC LIÊN KẾT VỚI TẬP ĐOÀN TẠI VIỆT NAM (Tính đến 01/12/2020)

- 
4. フォンマートト大学 (4年制)  
Đại học Buôn Ma Thuột (hệ 4 năm)
  2. タイグエン大学 (4年制)  
Đại học Tây Nguyên (hệ 4 năm)
  1. カントー医療短期大学 (3年制)  
Cao đẳng y tế Cần Thơ (hệ 3 năm)
  3. チャビン大学 (4年制)  
Đại học Trà Vinh (hệ 4 năm)



カントー医療短期大学における現地教育  
BUÔI TẬP HUẤN TẠI TRƯỜNG CAO ĐẲNG Y TẾ CẦN THƠ

ベトナムでの事業展開を紹介します。特に中部、南部の看護大学や看護短期大学と連携を取っております。なかでも、ホーチミンから車で南に4時間ほどのところにある、カントー医療短期大学とは、2017年に現地教育の連携をさせていただいています。私たちのスタッフが現地に行き、老年介護学や高齢者介護などを実際に教員の方々にレクチャーさせていただいたり、学生との情報交換をしたりと現在も継続しております。

## 老年看護学(高齢者介護)教材づくり ベトナム看護協会との覚書

### BIÊN BẢN GHI NHỚ VỚI HỘI ĐIỀU DƯỠNG VIỆT NAM VỀ BIÊN SOẠN GIÁO TRÌNH ĐIỀU DƯỠNG LÃO KHOA (CHĂM SÓC NGƯỜI CAO TUỔI)



先ほど基調講演をしていただきました、ベトナム看護協会のムック会長にも老年介護学、看護学の教材作成に監修をしていただいております。これらの教材をカントー医療短期大学でも使用させていただきます。

## レー ティ ベンさん Mrs. Lê Thị Ven



次に登壇いただくベンさんについて、少しだけ紹介させていただきます。

ベンさんは 2018 年に来日され、私たちのグループにありますが介護福祉士専門学校である、近畿社会福祉専門学校に入学して2年間学びました。その間、同じグループのグループホームでアルバイトをしながら生活をされていました。一度目の国家試験は少し点数が足りなかったのですが、今年合格さ



2018年来日し、近畿社会福祉専門学校に入学（2年間）  
Năm 2018 sang Nhật, nhập học trường phúc lợi xã hội Kinki (hệ 2 năm)



介護福祉士国家試験に合格し、現在ベトナムから家族を呼んで日本で一緒に生活しています  
Đã đầu chứng chỉ quốc gia chăm sóc viên, hiện tại đã bảo lãnh gia đình cùng sống tại Nhật.



2020年より当グループ、エバーライフ加島（介護付有料老人ホーム）にて勤務  
Hiện đang làm việc tại Everlife Kashima (nhà dưỡng lão kèm chăm sóc sức khỏe có thu phí) thuộc Tập đoàn từ 2020.

れました。今は家族を呼んで大阪で一緒に生活されています。それではベンさんお願いします。

レ ティ ベンさん（奈良東病院グループ、介護福祉士）

## 介護職は聖職

### プロフィール

- ・ 氏名：レー・ティ・ベン
- ・ 年齢：34歳
- ・ 出身：ベトナム南部にあるビンロン県
- ・ 日本滞在歴：2007年7月～2010年7月、3年間  
2010年日本語能力試験N2取得済
- ・ 技能実習満了後、ベトナム帰国
- ・ 2018年近畿社会福祉専門学校へ介護留学生として再度来日
- ・ 2020年近畿社会福祉専門学校 卒業
- ・ 2021年度 介護福祉士国家資格を取得し、現在大阪市在住

私は 2007 年 7 月から 3 年間、名古屋で技能実習生として働きながら日本語を勉強して、2010 年に日本語試験の 2 級を取得して帰国しました。

### 2018年来日し、近畿社会福祉専門学校に入学（2年間）



8年ぶりに2018年4月留学として近畿社会専門学校に2年間で留学しました。専門学校では最初に日本語が大きな壁でした。技能実習を満了し、帰国後、日本語をあまり使う機会がなかったため、再度来日し、専門学校で専門用語の多さで徹夜の毎日でした。

8年ぶりに 2018 年に近畿社会福祉専門学校へ留学して、再来日しました。2年間通って介護福祉士になりました。専門学校では、日本語が大きな壁になりました。一度帰国して日本語を使う機会が減っていたのと、専門用語も多くて最初はとても困りました。

# 留学時代



## ここから加島の高齢者施設にアルバイト

## 介護福祉士国家試験合格

卒業して1回目の試験は合格できませんでしたが、有料老人ホームエバーライフ加島で働きながら勉強して、翌年の試験には合格できました。

2018年4月に近畿社会専門学校に卒業しましたが、一回目に国家試験が取得できずに、有料老人ホームエバーライフ加島で働き、もう一度、試験対策を勉強しながら実際に様々な体験させていただいた結果、2021年度の国家試験を受かりました。

## 日本における生活



- ・ 就職してから現在2年目となり、仕事にだんだん慣れてきて入居者様々のADL理解した上、尊重・尊厳を守って働きます。
- ・ 入居者様と深く信頼関係が構築でき、毎日楽しく働いています。
- ・ 最初に留学2年+仕事5年(大阪府修学貸付金制度活用)で長いと思われる方もいるかもしれませんが、私にとっては家族が近くにいるので安心して生活しています。

- ・ 2021年1月に家族3人旦那と子供2人👨👩👧👦コロナ時期なのに無事に来日でき、緊急事態継続の為、生活に様々な出来事がありますが、現在家族全員が日本で楽しい暮らしを送っています。
- ・ 現在、子供👧小学校1年生と保育園に入られている、将来的に子供達が大きくなってから、定年になってから母国に戻ると思っています。

就職して2年目になり仕事にも慣れてきました。利用者さんのADLを理解して、尊重尊厳をもって働いています。

2021年にコロナ時期でしたが、無事、旦那と子供二人とも来日できて一緒に暮らしています。緊急事態が継続しているので生活は大変ですが楽しく過ごせています。子供も小学校と保育園に入っています。将来は、子供が大きくなって自分が定年になってから、母国に帰ろうと思っています。

どうもありがとうございました。

# 社会福祉法人 千寿会 SENJYUKAI Social welfare corporation

岐阜県瑞浪市を本拠地とする社会福祉法人

<高齢者福祉> elderly care 大型の介護老人ホームを3施設  
通所介護デイサービスを1拠点

<児童福祉> child welfare 認可保育園を2拠点

<海外事業> (ベトナム・ダナン市 Da nang city)  
overseas project 福祉人材育成事業を展開



岐阜県 瑞浪市  
特別養護老人ホーム 千寿の里  
特別養護老人ホーム 千寿の里 西小田  
デイサービス サテライト日吉  
千寿の里 愛保育園  
千寿の里 もりの愛保育園

静岡県 浜松市  
特別養護老人ホーム みさくぼの里

社会福祉法人千寿会の原と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

私たちの社会福祉法人千寿会で働いていますベトナムの EPA 職員の二人から、彼ら彼女らが感じた日本での就労についてお話しさせていただきます。その前に、私たち千寿会のベトナムでの取り組みについて、簡単に説明させていただきます。

千寿会は岐阜県瑞浪市を本拠地とします社会福祉法人になります。高齢者福祉については、介護老人ホームを3拠点、通所介護デイサービスを1拠点やっています。保育園も2拠点あります。そのなかで海外事業としては、

ベトナムのダナン市で福祉人材育成事業をやらせていただいています。

## 千寿会 ベトナム拠点 The Vietnamese base of SENJYUKAI



2010年9月～  
ダナン市の看護大学と提携

日本語-介護コースを設置  
プロジェクトは11年目に突入  
(日本語教師3名、現地に  
通年で派遣。)



日本語—介護コース

日本語と介護の学習、  
どちらも日本語を使用。  
現在は11期生が学習中。



2010年よりベトナム中部のダナン市の看護大学と提携し、日本語と看護を教えるコースを設置しています。このプロジェクトは11年目に突入しています。今回登壇する二人はこのコースの1期生と3期生になります。

2012年7月～  
日本初のベトナム人の  
来日介護研修を実施。  
約50～70日の介護施設  
での研修。1～7期を経て、  
2020年1月に9期生が来日。岐  
県瑞浪市にて研修。



# 社会福祉法人千寿会

# 来日KAIGO研修



今のコースの学習内容とは少し異なりますが、当時の彼らは日本語学習を1年少し、座学を中心に3ヶ月ほど介護を学習するコースを受けています。これらのコースを受けたのち、希望者には日本語試験のN2レベルを目指すコースを設置しています。このN2クラスでは、実際に日本に来て介護の現場を

勉強する来日介護研修を行なっています。約50日から70日間、見学が中心になりますが、私たちの施設で研修を実施しています。こうした研修を経て、N2の試験を経て、日越のEPAを通じて希望者は来日就労する流れです。

現在、24人がベトナムのEPAを通じて当法人に就労しています。うち10人が4年を経過して、介護福祉士の資格を取得しています。ほかのみなさんも、介護福祉士候補者として日々、業務とともに勉強に励んでいます。

## グエン ゴック ティンさん (社会福祉法人千寿会、介護福祉士)

みなさん、こんにちは。みさくぼの里で働いているティンと申します。みさくぼの里は豊かな自然に囲まれた場所にあります。



これからベトナムで日本語を勉強し始めたときから、今までの思い出や体験したこと、大変さをお話しさせていただきたいと思います。

みさくぼの里の景色です。緑色の中に現れ自然豊かな外観です。木と緑の温もりに囲まれて、癒される場所、落ち着いた時間を過ごせます。



## ダナンで日本語のクラスメンバー



ベトナムの中部にあるダナンの看護学校を卒業してから、千寿会の介護日本語クラスに参加しました。ここで1年間くらい日本語と3ヶ月ほど介護の知識を勉強しました。写真は介護の先生との写真とソーラン節を踊ったときの写真です。

ダナンで日本語と介護コース卒業後、もう1年間ハノイで EPA のプログラムに参加しました。日本語と日本文化、マナー等を勉強しました。ここで沢山の日本語先生と友達に出会いました。

## ハノイで日本語のクラスメンバー



## 岸田外務大臣と握手



岸田元外相がハノイの日本語クラスに訪問され、学生ひとりひとりと握手してくれました。

## 日本での生活



私は2015年5月に日本に来ました。この写真は、私たちが住んでいる寮の写真です。施設長は1週間に2日ほど寮に泊まるので、ときどき一緒に料理を作ります。

## 誕生日のパーティー



この写真は誕生日パーティーの写真です。それぞれ誕生日パーティーがあって、料理を作ったりケーキを食べたりできて嬉しいです。故郷から離れてホームシックになったこともあります。仲間がいるからこそ大変なことも乗り越えられました。

## 日本語の先生方と花見を



日本の先生と一緒にピクニックに行ったり、クリスマスパーティーをしたり、花見をしたり、いちご狩りをしたり。日本のことを何も知らない私たちをいろんな場所に連れて行ってくださった先生たちに感謝します。

今はコロナの関係でなかなか会えませんが、ときどきトウモロコシやお菓子など送ってくれます。とっても温かく優しい先生たちです。

施設長も、いろいろなところ

ろに連れて行ってくれました。生活面でも仕事面でもいろいろな応援をしてくださいました。施設長のおかげで日本の生活や現場の仕事にも慣れることができ、不安感や心配感がなくなってきました。

そして介護福祉士を取るためにときどき集合研修にも行きました。浜松ではフィリピンの方と出会い文化交流できました。ハノイと一緒に日本語を勉強した友達も、東京での集合研修で再会しました。

フィリピンの人たちは水窪に遊びに来て、ベトナム料理とフィリピン料理を交流し、いろんなお話ができました。

水窪の小学校の子供たちとも交流しています。料理を作ったり、ケーキを作ったり、ゲームをしたり。とてもかわいくて、子供たちの笑顔を見ると、疲れが取れるほど嬉しいです。

## 施設内の活動



施設内の活動についても少しお話しします。節分ではお菓子を配り、運動会では利用者さんと一緒にゲームをします。七夕では一緒に願いを書きました。敬老会では着物を着て踊ったり、クリスマスにもプレゼントを配ります。一緒に楽しんで、たくさん写真も撮りました。

水窪のお祭りにも参加したりして、日本でも出会いがありました。寮の前にある川に集まって一緒にお茶を飲んだり、友達と一緒に旅行に行ったりもしました。ご静聴ありがとうございます。



## 日本での出会い

## ディン ディンさん（社会福祉法人千寿会、介護福祉士）

私はディン ディンと申します。現在、千寿会で働いています。よろしくお願い致します。

私はベトナム EPA の第一陣で日本に来てから、もうすぐ丸7年になります。EPA に参加する前にはダナンで千寿会のプロジェクトに参加したおかげで、2012年に日本に来て、2、3ヵ月間実際の介護の現場で研修させていただきました。しかし当時は日本語能力も低く、研修の時間が短かったので、介護の仕事の内容とか大変なところとか楽しいところなどがはっきりわからないまま帰国しました。

その後すぐに EPA に参加し、2014年6月に来日して千葉で3ヶ月ほど研修しました。その8月には友達と別れて、実際の現場に入りました。最初の時期は本当にショックでした。でも私は事前に千寿会の研修に参加していたので、ショックは少ないほうかもしれません。研修に参加してない友達はもっと大きなショックだったと思います。

利用者には方言を話す人もいて、言葉もわからない。食事の介助などの仕事も大変でした。でも施設の職員がいつも親切で優しく教えてくれたので安心して仕事ことができました。一生懸命、何度も教えてくれて助かりました。

最初の1年目は日本語を勉強しながら、現場で働いていました。わからないことがたくさんありすぎて本当に一番大変な一年でした。そのときは友達も少なく後輩もいなかったの、仕事以外は1人で過ごす時間が多かったです。退屈な1年目はそのまま、終わりました。

2年目からは仕事も慣れてきて、周りの職員の性格、働き方、仕事の内容や利用者の状態も把握できるようになりました。仕事の量が多少増えてきましたが、利用者と職員とも信頼関係ができて冗談を言えるようになったので、心が少し楽になりました。

現場には可愛い利用者がたくさんいます。休みの日に会わないととても会いたくなるような人もいます。しかし、わがままで暴れる利用者さんもいます。それでストレスがたまったときもあります。職員同士で意見がぶつかったり、仕事もいつもうまくいくわけではありません。みんなの働き方や性格に合わせてやるしかないと思ったこともあります。

でも2年目からは毎年、後輩がたくさん来てくれるようになりました。誕生日パーティーやカラオケなどをいつもみんなで集まって一緒にやります。そういうときは本当にストレスが発散できます。

去年からコロナの影響で帰国もできず、友達と一緒に過ごす時間も出かける時間もだいぶ減ってきました。以前みたいに遠くまで遊びに行けません。その代わりに施設が用意してくださった畑で10種類以上の野菜を育てています。スーパーで販売されていない野菜も作りました。今年はカボチャやゴーヤ、空芯菜、ヘチマなどを作りました。

疲れたときや時間があるときに、水やりとか草取りとかをしています。好きな野菜がたくさん取れるので、リラックスできて気持ちも良くなります。たくさんとれた野菜は友達にわけたり、施設の人と一緒に食べることもあります。都会の施設では難しいと思いますが、野菜作りはベトナムの人は喜ぶと思います。

私は国家試験に合格したら帰国しようと思っていましたが、施設の人がいつも優しくしてくださって外国人の制度も良い方向に改善してくださったので、今まで働いています。本当に感謝しています。

## 【質疑】

Q. 養成課程について。外国人人材と協働し、より良いケアの提供を目指すために、日本の看護や介護を学ぶ学生はどのような内容を学ぶと効果的だと思いますか？

A. ホップさんの話にもありましたが、まず、ベトナムの方も日本人もお互いの知らないことを理解し合うことが一番大事かなと思います。養成課程にどんなカリキュラムを入れるかですが、ベトナムではこれから高齢化が進むので高齢者介護の内容が必要になってきます。日本ではすでに行われている訪問看護や訪問介護なども、今後ベトナムでも重要になってくると思います。そのための情報交換ができればいいと思います。交換留学などもできれば、お互いに情報を得ながら、それぞれの国で生かしていけるとと思います。最終的に我々がやろうと思っていることは、教員の育成です。ベトナム人の教員が、ベトナムで高齢者介護をどのように伝えていくか。そのためには、実際に日本に来て介護学校などで研修をしていただくことを繰り返してもらおう。それでベトナムでの教育に生かしていただく。それが大事だと思います。カリキュラムの中身は専門家の先生の意見はあると思いますが、まずはお互いに理解していくということと、交流を深めていくことが大事だと思います。そのなかでお互いが同じ立場にいることを理解していく。日本は高齢化社会を早くにむかえており、ベトナムはこれからです。先にむかえたからいいということではなく、先に学んだことをベトナムに伝えていく。ベトナムはベトナムで学んだことを日本に提供していただく。双方で情報交換していくことが必要だと思います。ゴールはありません。(岡田)

A. ベトナムでは「介護」という仕事がまだ馴染んでいないので、まずは介護とはどんな仕事かという職業認識を教えることが必要です。技術面に関しては、「どこで教育するか」によって教える内容が違ってくると思う。教育期間によっても、優先順位をつけて何を教えていくかを考えながらカリキュラムを組まないといけないと思います。(ホップ)

## 【閉会のあいさつ】

3名のベトナムの方々からお話をいただき、フロアーから「彼/彼女らが働く施設を見学したい」とのご要望をいただきましたが、現在は新型コロナウイルス感染対応でどの施設も忙しくされておりますので、施設訪問は厳しい状況にあるということをどうぞご理解ください。

本日は「ベトナムから日本の介護へ」というテーマで多くの方々にご登壇いただき、それぞれのお仕事、立場、視点、経験から貴重なお話を伺うことができました。本当にありがとうございました。

インターネット上で公開されている論文や研究成果もありますので、ご興味のある方は参考にされると良いかと思います。

今後もベトナム人介護人材に関するセミナーも開催予定です。またご参加いただければと思います。本日はありがとうございました。(二文字屋)